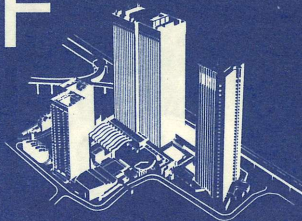


THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH WEEKLY REPORT

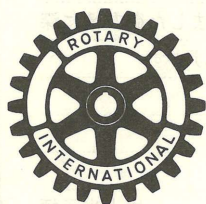


東京新南ロータリークラブ週報

November 18, 1988 No. 104

今年度のターゲット

(ロイス・アビー '88~'89 年度 RI 会長)



ロータリーに活力を—
あなたの活力を

PUT LIFE INTO ROTARY-
YOUR LIFE

本日の予定 昭和 63 年 11 月 18 日 (第 106 回)

卓 話 『日本の言い分、世界の言い分』

宮 澤 弘 氏 / 参議院 商工委員長
元外務委員長

先週報告

昭和 63 年 11 月 11 日 第 105 回

ビュフェスタイル例会のため『卓話』はございません
でした。

司 会 : 村 川 優 会長

♪ロータリーソング:「我等の生業」

ソングリーダー: E.A. Zaloom 君

ニコニコボックス紹介: 入 沢 頼 二 君

来 客 紹 介: 赤 松 仁 明 君

出席状況: 会員 47 名中 / 出席 34 名 / 欠席 13 名
来客 10 名 / (地方 3 名・都内 7 名)

千代田分区
275 地区 京浜分区 合同ゼネラル・フォーラム
山の手分区

〈 プ ロ グ ラ ム 〉

1988 年 11 月 21 日 (月) 於: 東京プリンスホテル

12:30 登録、受付

13:00 開会、点鐘

分区代理 挨拶、ガバナー 挨拶

第一部 13:40 基調講演

講師 パストガバナー 黒 澤 張 三 氏

第二部 15:00 グループディスカッション

米山奨学生分科会

R 財団奨学生分科会

青少年交換学生分科会

16:30 感想・まとめ ガバナー
学生紹介

17:00 点 鐘

第三部 17:30 懇親会

19:00 閉 会

ニコニコボックス

(順不同・敬称略)

村川 優 本日の例会場について大変ご迷惑をかけ
ますこと深くお詫び申し上げます。

宮本 正祥 職業奉仕盛り沢山の素晴らしい京旅行でし
た。村上さん、勝山さん、田中さんおおきに。

入沢 頼二 村上さんのサントリー山崎工場では、超
VIP 待遇の御案内をいただきました。又、勝山さん
御案内の西陣では手織作業をみせていただきました。
あの作業をみて花嫁衣装が高いということがわかる
ような気がいたします。

田中 武 楽しい旅行でした皆様ありがとうございます
しました。

山川 政樹 旅行では大勢の方のお世話になりました。
ありがとうございました。

保科 正 京都旅行、何もお手伝いが出来ず、まこ
とに申し訳ありません。

平井 逸夫 旅行に参加できず申し訳ありませんでし
た。

安藤 大助 天皇陛下の早期回復を祈って。

山本 博一 村川さん色々お世話になり有難うござい
ました。

河原 勢自 四分一さん宮本さん写真頂戴しました。
有難う御座いました。

岩瀬 秀郎 博多、広島へ出張しました。初めて屋台
の博多ラーメンを食べてきました。

武下 朗 ヨイお天気です。

11 月 11 日 12 件 ¥ 40,000

それぞれ、多額のご寄附を頂きました。有難うござい
ます。

ビジター (敬称略)

宇都宮讓二 / 西宮夙川 RC、川島康生 / 大阪 RC、城
魏 / 水戸南 RC、バスカビル・D / 東京 RC、田崎喜朗 /
東京西北 RC、柳田征史 / 東京目黒 RC、大川牧夫 / 東
京品川 RC、壁谷賢太郎 / 東京山の手 RC、吉越 亘 /
東京新橋 RC、小見山了一 / 東京南 RC



11月9日・10日 『京都旅行の記』

秋晴れに恵まれた去る9日、京都親睦旅行がご夫人4名を含む総勢14名の参加を得て行われました。京都駅より村上会員の案内で天王山のふもとにあるサントリーの山崎蒸溜所を訪問。秀吉と光秀が天下をかけて戦ったこの歴史的合戦場は、良質な水が豊富に湧き出ておりウイスキーづくりに最適な場所となっています。まず、160万個の熟成樽が整然と並んでいる貯蔵庫を見学、次にオートメ化されたボトリング工場で次々と出来上って行く商品を眺めそしていよいよ試飲会。島谷工場長の好意で非売の15年ものの樽の栓が抜かれ、注がれたそのモルトのまろやかさに一同うっとり。「ウイスキーづくりには良い水が必要だがもっと大切なものはつくる人の心です」と言われた島谷さん自身も、熱心なロータリアンでありました。

山崎を後にして次は、勝山会員の好意で西陣織りの^{うちかけ}襦とそれを織っている町工場の見学となりました。高瀬川の源流が流れる優雅な庭園がある展示場には、数々のきらびやかな襦が飾られ、その美しさに一同思わず溜め息。又、熟練工の女性が機織りで丹念に織っている現場を見て、このような伝統は大切にしたいと考えさせられる見学会でありました。

日程終了後の夕食は南禅寺の隣の「順正」で京料理を味わい、又、全日空ホテルへ帰った後も夜遅くまで会員同士の親睦の輪が続きました。

翌日はまず、東山山麓にある秀吉夫人のねねが慶長10年に開創した高台寺を訪問。繊細な作りの茶室、傘亭と時雨亭が印象的でした。次に訪れた金閣寺は修復が終り、その黄金色と赤いもみじが眩しいばかりのコントラストを描いていました。又、一同が感銘を受けたのは仁和寺で、秋の紅葉、春のおむろ桜、冬の雪景色と三拍子揃った閑静なお寺でした。昼食は嵐山の渡月亭で豆腐料理に舌づつみを打ち、そしてその後、一般公開されていない渉成園の庭園で、のどかな一時を過ごし、名残りおしくも帰路につきました。

最後に、今回の見学を段取りされた村上、勝山両会員に感謝すると共に、旅行の企画をされた岩上親睦委員長の、一日も速い全快を祈って報告を終ります。(宮本正祥・記)

本日は、私共に対し御立派な美しいお花を頂きまして心より厚く御礼申し上げます。

さぞかしロータリークラブの皆さまに御迷惑をお掛け申し上げて居ります事と思っておりますのに友情溢るゝ御手紙と共に御丁寧なる御見舞を頂きまして感謝の気持ちで一杯でございます。

主人は只今の処、スヤスヤと眠っている状態のままで口をさく事は出来ませんが、時々のお医者様の呼び掛けに顔く事が出来、両手両足は多少動かす事が出来る程度でございます。10月26日の発病以来現在迄、集中治療室に入ったままでございます。

皆様の温かいお心遣いを主人がどんなにか嬉しく思っております事と存じます。そして、一日も早く例会に出席出来ます様願っている事と思ひます。

簡単ではございますが、主人に代わりましてロータリークラブの皆さまが御寄せ下さいました御友情に深い深い感謝を込めて御礼まで申し上げます。

11月7日

東京新南ロータリークラブ

会員御一同 様

岩上米子拝

ロータリー財団はあなたの援助を必要としている

ロイス・アビー会長は、1988～89年度会長の要請プログラムの一環として、全ロータリアンに、ロータリー財団の将来を確かなものとするために尽力するよう要請しています。このための最もよい方法の一つは、財団基金に寄付することです。あなたは米貨1,000ドル以上の無条件寄付をするか、または、遺書か最終資産計画によって寄付することができます。その場合、あなたは生存中の利子収入を確保できます。

基金への寄付は、収益だけが財団プログラムの支援に使われます。このようなわけで、あなたの寄付は、恒久的にロータリー財団を支援し続けることになります。基金への寄付を考えているなら、ただちに寄付して下さい。11月は財団月間です。この重要な貢献をするに最適のときです。

「R.I. 情報」10.11月号より

◎次週予定 昭和63年11月25日(金)(第107回)

卓話予定 『ロータリー財団月間に因んで』

渡辺 晴俊 氏/東京狛江RC会員

275地区ロータリー財団委員長

受付会計/柴本・永井 来客紹介/平井・岩瀬

ソングリーダー/福田 ニコニコボックス/宮本・山本

各担当の会員の方は、11時50分迄にご出席願ひます。

会長=村川 優 副会長=沖 宏之 幹事=保科 正 会報=吉田用親

東京新南ロータリークラブ

〒107 東京都港区赤坂2-22-19 南部坂アネックス201号 TEL. 03-505-5976 FAX. 03-505-6004